

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-782-031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
- 単 元 株 主 数 100株
- 証 券 コ ー ド 7266（東京・名古屋証券取引所市場第一部）

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

* 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ホームページのご紹介

当社及びグループ会社の概要・財務・製品・採用・決算等の最新情報につきましては、ホームページにてご案内しております。

ぜひ、下記アドレスまでアクセスしていただきますようご案内申し上げます。

URL <http://www.imasen.co.jp/>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7266

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を差しさせていただきます



*本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL: info@e-kabunushi.com



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインクを使用しております。



IMASEN REPORT 11

第75期報告書

2011.4.1-2012.3.31

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市宇柿畑 1 番地
TEL (0568) 67-1211（代表）



株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第75期の業績について、ご報告させていただきます。



代表取締役会長

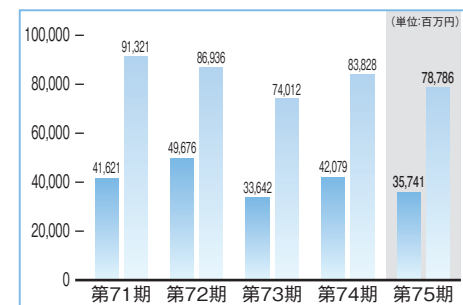
代表取締役社長

若山 恭二 藤掛 治

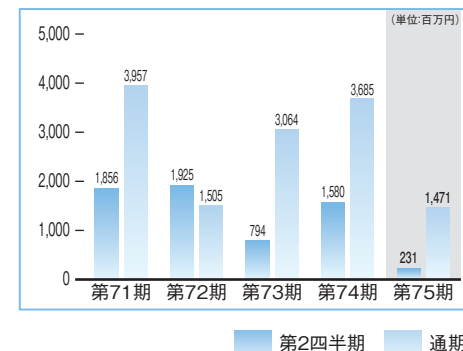
■決算ハイライト

大震災やタイ洪水に

売上高 787億円
前期比 6.0%減少



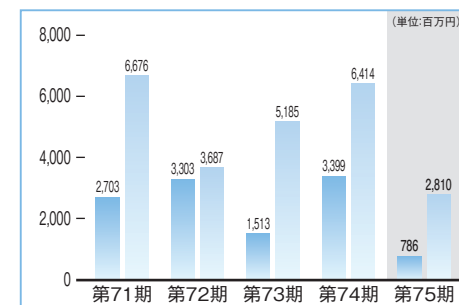
純利益 14億円
前期比 60.1%減少



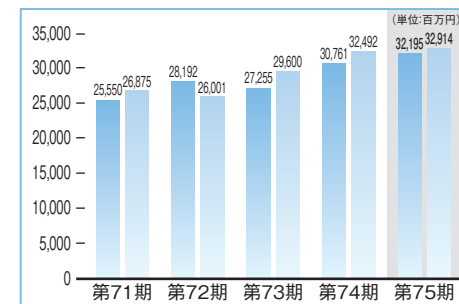
第2四半期 通期

よる自動車減産の影響を受け、減収減益となりました

営業利益 28億円
前期比 56.2%減少



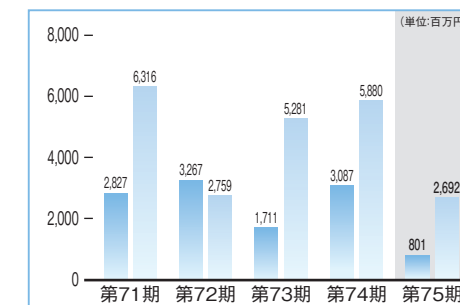
純資産 329億円
前期比 1.3%増加



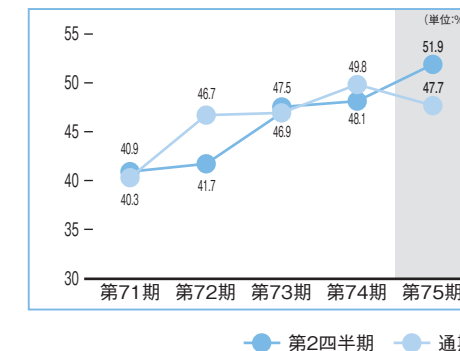
経営理念

想像力を豊かにし、これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、これをより安く、より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

経常利益 26億円
前期比 54.2%減少



自己資本比率 47.7%
前期比 2.1ポイント減少



第2四半期 通期

Contents

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	1
新長期経営ビジョンと 中期経営計画について	3
シーマイクロ紹介	5
トピックス	6
決算の状況（連結）	7
事業別営業の概況	9
会社の概況	10
株式情報	10



特集企画「IMASENを知る」第8弾

新長期経営ビジョンと中期経営計画について

IMASENでは、リーマンショック以降、再び従来の成長路線への回復を果たしていくことを目指し、第73期（2009年度）より中期経営計画「Proud 2nd Stage」を取り組んでまいりました。一層厳しさを増す経営環境の中で、前中期経営計画の課題を引き継ぎつつ、今後更なる成長路線に転換するため、今期、第76期（2012年度）より、新しい経営計画をスタートいたしました。

■IMASEN新長期経営ビジョン

Dream 2020

2020年度に達成を目指すIMASENの夢
全社員がこの夢の実現に向かって希望を持って取り組もう

<狙い>
短期的な変化に左右されない
全社の「夢」を設定

①シートアジャスタで世界トップ

（商品性、技術力で世界をリードする製品を提供し続ける）

②オンリーワン製品で環境・自動車安全に貢献

（機構技術と電子技術の融合による環境・安全関連製品を市場投入し、事業の柱とする）

③非自動車事業で国内産業に貢献

（福祉機器、航空宇宙、検査機器分野などの育成により国内事業を再構築する）

④効率的かつ公平・公正なグローバルマネージメント

（グローバルでグループ経営最適化を追求できる管理体制を構築する）

IMASENを取り巻く経営環境は、自動車メーカーによる世界最適コストの追求により、世界規模での受注競争が激しさを増しております。当社の競合先も、従来の国内メーカーに加え、グローバルに活躍する巨大なサプライヤー集団や、新興国のローカルサプライヤー等へとシフトしております。

自動車部品市場としても、長引く国内の自動車販売の

不振や円高を背景に、自動車生産の海外移転が加速するなど、主戦場は新興国を中心とした海外に移っております。

こうした厳しい経営環境を乗り切るため、IMASENでは、*Dream 2020*（ドリーム 2020）として、長期の経営ビジョンを設定し、その夢の達成に向けて全社を挙げて取り組んでいくことといたしました。

■新中期経営計画方針と展開イメージ

<2012～2014年度> フェーズ1 中期計画展開
方針内容

- ①研究開発の強化
- ②人材育成とグローバル活用
- ③グローバルでの事業拡大
- ④国内事業の再編
- ⑤非自動車領域の事業開発
- ⑥グローバルマネジメント確立

2012年度予想
連結売上高 944億円
連結営業利益率 6.4%

<2018～2020年度>
フェーズ3（中期計画見直し）

2020年度目標
連結売上高 1,800億円
※適正な利益確保

<2015～2017年度>
フェーズ2（中期計画見直し）

3年単位の中期ステップにて展開

3年間の中期施策と、
2020年度ビジョンの達成に
向けた長期施策を展開

新長期経営ビジョンである*Dream 2020*は、2020年度までに達成したいIMASENの夢を描いたものであり、今後予想される様々な短期的な経営環境の変化には左右されことなく、一貫してこれを目指して取り組んでいく、というものであります。

その経営目標値として、2020年度の連結売上高で1,800億円を設定いたしました。

IMASENでは、2020年度までの9年間で3年単位の3つの中期計画展開フェーズに区分して、施策を実施してまいります。

今期2012年度をスタートとするフェーズ1におきま

しては、連結グループとしての事業強化と、グローバル化への対応をメインとして、①研究開発の強化、②人材育成とグローバル活用、③グローバルでの事業拡大、④国内事業の再編、⑤非自動車領域の事業開発、⑥グローバルマネジメント確立、という6つの展開方針を設定し、フェーズ1の3年間で実現すべき中期施策と、2020年度までにビジョン達成に必要な長期施策の両面で行ってまいります。

今後のIMASENの活躍にご期待いただきますようお願いいたします。



IMASENグループに (株)シーマイクロが加わりました

IMASENでは、2011年11月8日に(株)シーマイクロ（本社：香川県高松市）の株式を100%取得し、子会社化しております。

会社概要

(株)シーマイクロは、微細で高速なカメラ・画像処理技術を有し、産業向け自動画像検査分野に独創性のある製品を提供しております。取り扱う製品は、公共、製造、印刷、新素材、食品安全検査など、幅広い分野のお客様に利用いただいております。

強み

市場ニーズが高度化・多様化する産業用電子機器開発分野で、内在するハード・ソフトウェア技術を用いて、新製品の企画・提案から設計、製造、品質管理までの全工程を開発提供しております。

複雑な画像処理をハードウェア上で高速化する技術を有しており、お客様の生産品質向上に大きく貢献しております。



所在地：香川県高松市林町269番地1
代表者：代表取締役社長 増田 眞一
資本金：15,000千円
設立年月日：1994年1月17日
事業内容：マイクロコンピュータ応用電気機器の設計、製作、販売



産業用カメラ



画像処理ボード

Message from シーマイクロ



代表取締役社長 増田 眞一

(株)シーマイクロでは、ハイテクベンチャーとして誕生以来、画像処理システム分野の技術集団として、着実に事業を拡大してまいりました。この度、**IMASEN**グループの保有する技術力、市場、将来の可能性に多大な魅力を感じ、M&Aにより、子会社となりました。今後は**IMASEN**グループと共に、未来志向の新分野を切り開いてまいります。

トピックス

■米国拠点テネシー工場稼働開始

IMASENは米国子会社IB-TECH（イマセン ピュサイラス テクノロジー インク）のオハイオ工場に続く米国内第2の拠点としてテネシー工場を建設し、2012年3月より稼働を開始いたしました。

米国は新車販売の回復が予測されるなど、今後も拡大が見込める市場であります。新工場の稼働により、一層のシェア拡大に努めるとともにオハイオ工場とのシナジー効果の創出を目指してまいります。これに加え、現地生産、部品の現地調達化を高めるなど、北米事業の最適化による収益向上に取り組んでまいります。

テネシー工場の概要

所在地：テネシー州マウントプレザント市

生産品目：シートアジャスタ、他

設備内容：プレス、溶接、組立



【テネシー工場】

■タイの復旧に関するお知らせ

2011年10月に発生したタイ洪水の影響により、**IMASEN**の生産拠点であるIMTC（イマセン マニュファクチュアリング（タイランド）カンパニー リミテッド）が立地するアユタヤ県のハイテク工業団地が冠水し、工場建屋が浸水被害を受け、稼働を停止いたしました。

その後復旧作業を進め、2012年2月には完全復旧し、現在は通常の生産体制にまで回復しております。

今後は、リスク対応を進め、**IMASEN**のグローバル生産拠点としての役割を果たしてまいります。

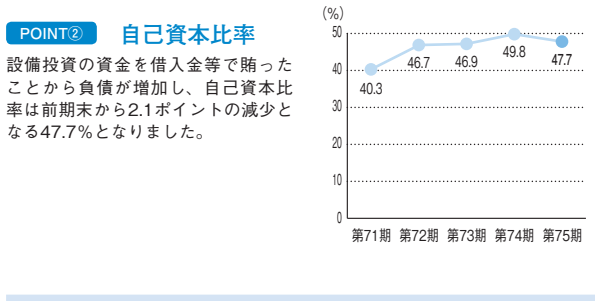
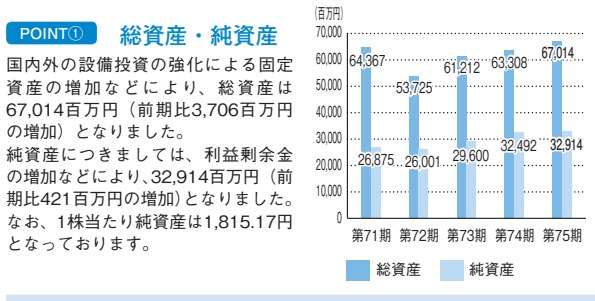


【IMTC第2工場】

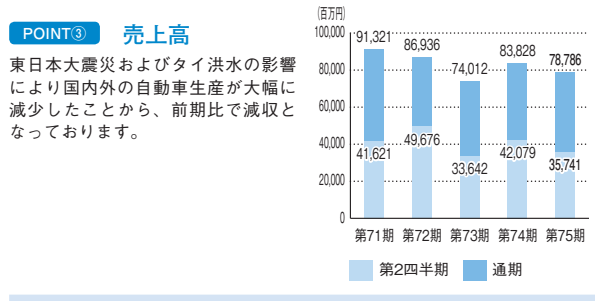


■決算の状況（連結）

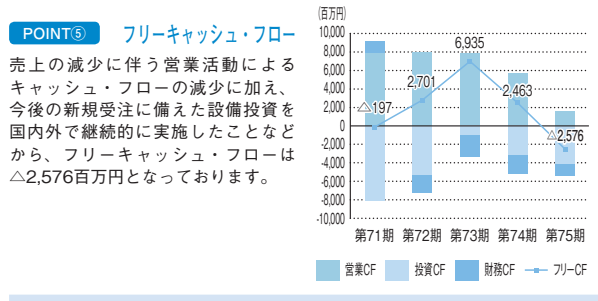
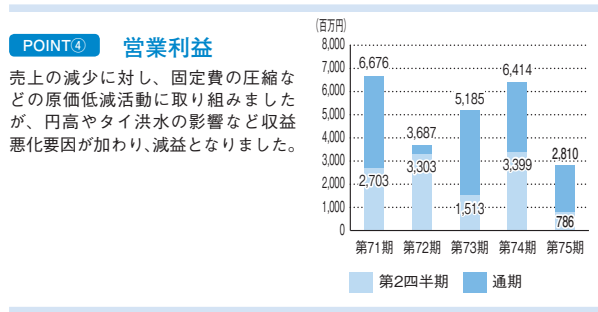
連結貸借対照表			(単位：百万円)		
年度別	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)	年度別	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
科目			科目		
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	38,269	39,229	流動負債	23,982	28,837
現金及び預金	9,825	5,711	支払手形及び買掛金	12,998	13,067
受取手形及び売掛金	19,691	23,573	1年内償還予定の社債	500	3,010
たな卸資産	5,963	5,522	短期借入金	3,332	4,253
その他	2,791	4,441	未払法人税等	770	491
貸倒引当金	△3	△19	賞与引当金	1,147	1,182
固定資産	25,038	27,784	その他	5,233	6,832
有形固定資産	21,196	23,079	固定負債	6,833	5,262
建物及び構築物（純額）	7,057	6,901	社債	3,000	15
機械装置及び運搬具（純額）	5,621	5,691	長期借入金	601	1,126
その他（純額）	8,517	10,486	退職給付引当金	1,454	1,150
無形固定資産	344	695	その他	1,776	2,971
その他	344	695	負債合計 POINT②	30,815	34,100
投資その他の資産	3,498	4,010	(純資産の部)		
投資有価証券	3,280	3,603	株主資本	32,265	33,030
その他	253	441	資本金	4,548	4,548
貸倒引当金	△35	△35	資本剰余金	4,281	4,281
資産合計 POINT①・②	63,308	67,014	利益剰余金	23,544	24,639
			自己株式	△108	△438
			その他の包括利益累計額	△713	△1,033
			その他有価証券評価差額金	952	1,106
			為替換算調整勘定	△1,665	△2,140
			少数株主持分	939	917
			純資産合計 POINT①・②	32,492	32,914
			負債純資産合計	63,308	67,014



連結損益計算書			(単位：百万円)		
年度別	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	年度別	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
科目			科目		
売上高 POINT③	83,828	78,786	売上高 POINT③	83,828	78,786
売上原価	70,328	68,685	売上原価	70,328	68,685
売上総利益	13,500	10,100	売上総利益	13,500	10,100
販売費及び一般管理費	7,086	7,289	販売費及び一般管理費	7,086	7,289
営業利益 POINT④	6,414	2,810	営業利益 POINT④	6,414	2,810
営業外収益	271	295	営業外収益	271	295
営業外費用	805	414	営業外費用	805	414
経常利益	5,880	2,692	経常利益	5,880	2,692
特別利益	53	1,275	特別利益	53	1,275
特別損失	167	906	特別損失	167	906
税金等調整前当期純利益	5,766	3,060	税金等調整前当期純利益	5,766	3,060
法人税、住民税及び事業税	2,063	1,277	法人税、住民税及び事業税	2,063	1,277
法人税等調整額	△54	288	法人税等調整額	△54	288
少数株主損益調整前当期純利益	3,758	1,495	少数株主損益調整前当期純利益	3,758	1,495
少数株主利益	72	23	少数株主利益	72	23
当期純利益	3,685	1,471	当期純利益	3,685	1,471



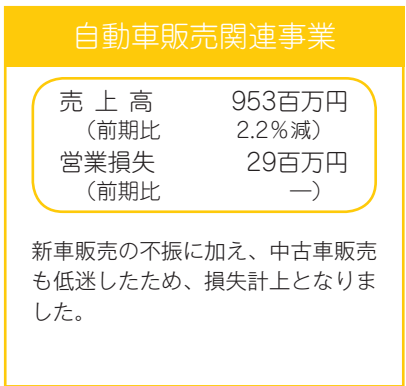
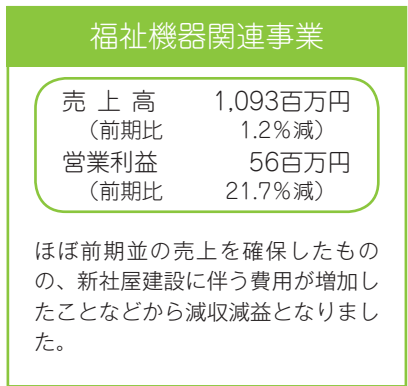
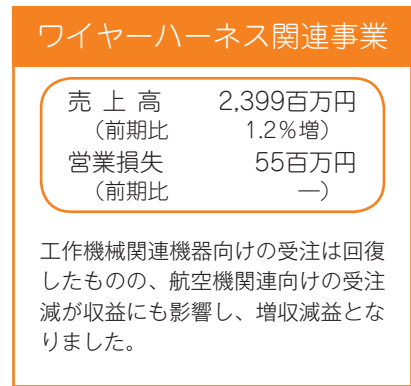
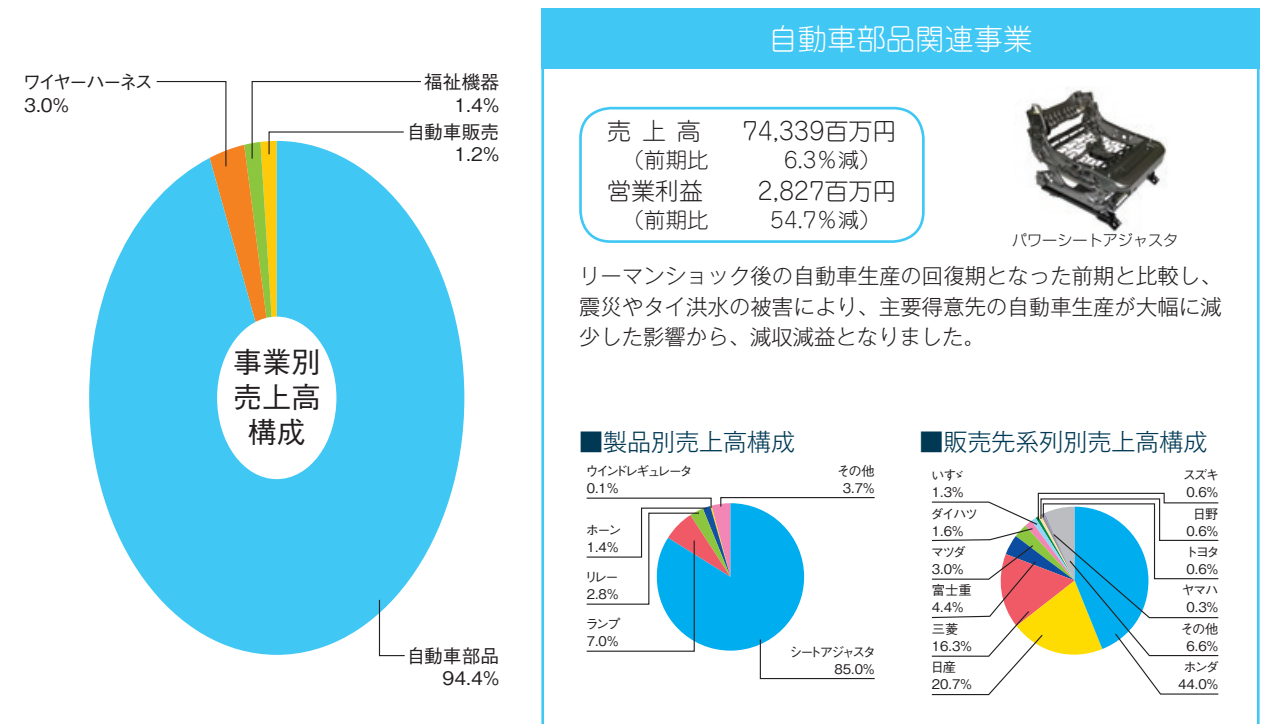
連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）		
年度別	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
科目		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,635	1,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,171	△4,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,019	△1,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△202	△337
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	242	△4,146
現金及び現金同等物の期首残高	9,254	9,496
現金及び現金同等物の期末残高	9,496	5,350





■事業別営業の概況

主力の自動車部品関連事業において震災・洪水が収益に大きく影響いたしました



■会社の概況 (平成24年3月31日現在)

■会社の概要

社名	株式会社 今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	昭和14年2月1日
資本金	4,548百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	4,129名(連結)
本社所在地	愛知県犬山市字柿畑1番地
営業所	東京支店／栃木支店／広島支店
国内拠点	名古屋工場／岐阜工場／八百津工場 春里工場／可児工場／岡山工場／広島工場 (株式会社九州イマセン)
海外拠点	台湾／フィリピン／米国／ 中国／タイ／インド

■株式情報 (平成24年3月31日現在)

■株式の状況

発行可能株式総数……………49,195,000株
発行済株式の総数……………18,172,737株
株主数……………3,979名

■大株主 (上位10名)

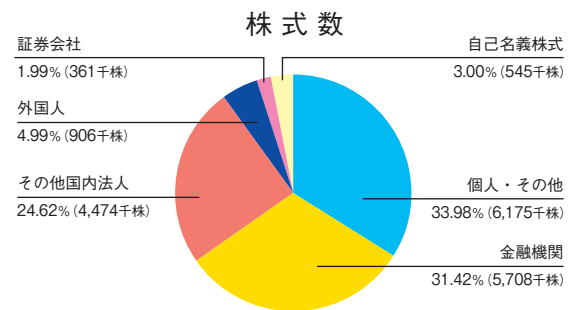
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業(株)	1,066	6.04
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	902	5.12
IMASEN取引先持株会	780	4.42
ヤマハ発動機(株)	613	3.48
(株)三菱東京UFJ銀行	605	3.43
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	577	3.27
今仙電機従業員持株会	529	3.00
(株)第三銀行	505	2.86
第一生命保険(株)	426	2.41
中央三井信託銀行(株)	374	2.12

(注) 1. 当社は、自己株式545千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(545千株)を控除して計算しております。
3. 中央三井信託銀行は、平成24年4月1日をもって住友信託銀行及び中央三井アセット信託銀行と合併し、三井住友信託銀行となっております。

■役員 (平成24年6月21日現在)

代表取締役会長	若山 恭二	取締役	行友 一雄
代表取締役社長	藤掛 治	取締役	亀山 庸宏
常務取締役	中島 良紀	取締役	大野 真澄
常務取締役	山田 博	取締役	富田 雅博
取締役	亀山 弘昌	常勤監査役	長屋 三平
取締役	中澤 哲則	常勤監査役	阿部 隆行
取締役	足立 隆	監査役	宮澤 俊夫
取締役	佐々木 鉄二	監査役	長谷川 周義

■所有者別分布状況



■配当金の推移

